令和8年度 最上地域在宅医療・介護連携拠点事業

出 張 研 修 会 報 告

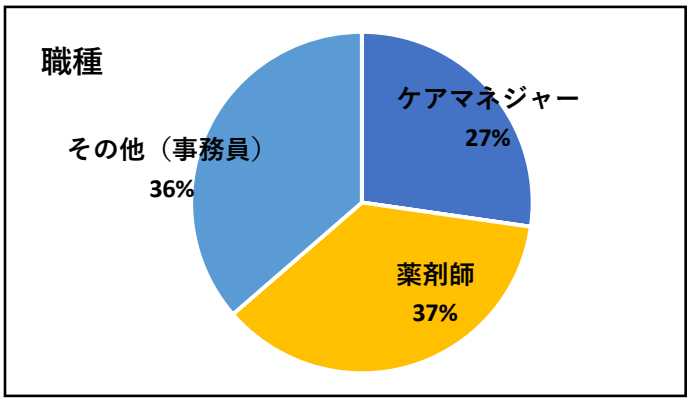
この研修会は、『専門性を高めよう～介護現場で活かせる実践力』をテーマに、在宅・介護現場で働く方々の知識・技術の向上を目指し開催しました。

日　　時	令和8年10月28日（水）　19時～20時
開催場所	有限会社 メディカほし薬局 （場所：雪の里情報館）
講　　師	山形県立新庄病院 認知症看護認定看護師 青柳奈美子氏
研修内容	「薬局 薬剤師のための認知症ケア～よりよいケアが笑顔を引き出す～」 ・認知症の基礎知識（疾患・症状） ・対応の心得 ・地域における薬局、薬剤師の役割
参加人数	12名

アンケート回答状況：参加者 12名、回答者 11名（回答率 91.7%）

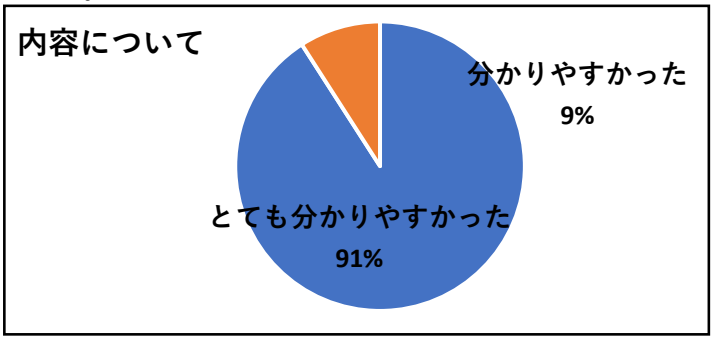
参加者職種

所属	人数	割合
ケアマネジャー	3	27.3%
看護師	0	0.0%
リハビリ	0	0.0%
薬剤師	4	36.4%
その他（事務員）	4	36.4%
無回答	0	0.0%
計	11	100%



1．研修会の内容について、いかがでしたか。

	人数	割合
とても分かりやすかった	10	91%
分かりやすかった	1	9%
あまりわからなかった	0	0%
分からなかった	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	0%
計	11	100%



≪とても役に立った、役に立った　主な理由≫

・イラストを用いてとても丁寧な説明でした

・認知症の人とこれから関わっていく方、関わり始めた方にとって難しい言葉が少なく分かりやすい内容でした

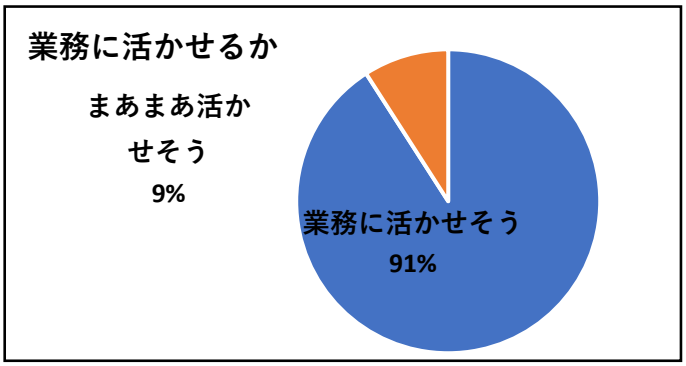
・細かく具体的な例をあげて資料を作成していただいたので、認知症症状についてなど、とても分かりやすかったです。

・認知症の脳の状態が図解していただいたことで、よく理解できました。また、日頃接している「認知症」の方への心理状態も再学習することができました。

・認知症の基礎を改めて知れてよかった

2. 今後の業務に活かせそうですか。

	人数	割合
業務に活かせそう	10	91%
まあまあ活かせそう	1	9%
あまり活かせない	0	0%
活かせない	0	0%
無回答	0	0%
計	11	100%



≪業務に活かせそう、まあまあ活かせそう　主な理由≫

・今回の研修を通し、認知症の基礎知識を再確認できたので活かそうと思う。
・言葉がけひとつで態度や反応が違ってくるので、言葉がけは大切だと思いました。「3つのない」は気を付けようと思います。
・気分が乗らないとか、機嫌が悪そうな時は便秘とか体の不調の可能性も考える
・身体的な変化だけでなく、普段の習慣といった行動面の情報も集めておく必要があると思った
・来局時の声がけ、認知機能が低下してくると言葉で伝える時難しいことがあるので、一文を短く動作を丁寧に、低いトーンで話すなど。もっと気をつけていきたい。
・高齢者の身体状況（聞こえない、見えない、麻痺がある）等を念頭に安心できるよう声をかけ、メッセージを受け取っていきたい

3. どのような内容が印象に残っていますか。

・自分でできることを奪わないという事。家族は時間がかかるからやってしまう方がほとんど。役割を与えることはとても大切なことだと感じました。家族へ上手に説明して行こうと思います。
・自尊心を傷つけないように接すること、言葉選びをとても大切なこと。自分の家族に対してだとそこまで気にしてあげられるか心配でした。
・専門医を受診して、内服薬を処方してもらうことが第一選択ではない（本当にそうだと思う）服薬支援の苦労を話して頂けたこと。
・3つの「ない」に注意する。7つのポイント（認知症関係なくすごく大事だと思った。）
・認知症の人のBPSDは、ケアによって改善したり、出現したりする症状だという事を初めて知った。
介護者が先に折れてしまわないように支えることの重要さ
・BPSDは認知症になると誰でも起こるものだと思っていたが、人によって症状が違うのは、BPSDには何らかの意味があり、それが起こる要因があるということ。
・「相手が鏡になる」自分の穏やかに焦らないように、こちらの態度が本人の反応として返ってくる。安心につながる声がけが必要。薬局だから出来ること、気づきが大事で支援につなぐことができる。
・常に言葉を選び、ネガティブからポジティブな声がけを心かけていますが、どうしても詰まってしまい不快な思いをさせてしまう事があります。まず、安心できる言葉がけについて、印象に残りました。これは、高齢者だけでなく接する人みんなに出来たらと思う
・「最後に食べたいもの」の話から、その人のナラティブを聞きだすことができた話が印象に残った。「その人らしさ」を考える時に。ナラティブを知るという事は大切なことだと思う。薬の話以外で、会話の引き出しを持っておきたいと思った。



